



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SRAホールディングス

コード番号 3817 URL <http://www.sra-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鹿島 亨

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長

(氏名) 北井 誠

TEL 03-5979-2666

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	28,562	10.4	2,545	43.8	2,787	15.1	1,683	78.0
27年3月期第3四半期	25,867	4.4	1,770	14.7	2,422	20.2	945	△17.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,756百万円 (11.5%) 27年3月期第3四半期 1,575百万円 (28.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	139.56	138.79
27年3月期第3四半期	78.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	33,327	19,979	59.9
27年3月期	31,714	18,859	59.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 19,948百万円 27年3月期 18,834百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	17.00	—	38.00	55.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,300	2.1	3,360	10.2	3,450	△9.5	2,260	37.9	187.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更」に該当します。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	15,240,000 株	27年3月期	15,240,000 株
28年3月期3Q	3,135,875 株	27年3月期	3,205,445 株
28年3月期3Q	12,063,766 株	27年3月期3Q	12,010,963 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、当社ホームページに速やかに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)におけるわが国経済は、個人消費は底堅く、設備投資はおおむね横ばいで、企業収益も改善し、緩やかな回復基調が続きました。

情報サービス業界におきましても、製造業や銀行等を中心にIT投資は増加しましたが、競争激化による厳しい受注環境は依然として継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、企業価値ならびに株主価値の向上をめざし、収益構造の改革を推進して高収益モデルを確立するとともに、株主還元のためのさらなる充実を図るため、2015年度から2017年度(平成28年3月期から平成30年3月期まで)の3年間を対象期間とした、中期経営計画を策定し、以下の重点施策に取り組んでおります。(中期経営計画の概要は、平成27年6月24日発表「中期経営計画の策定に関するお知らせ」<http://www.sra-hd.co.jp/Portals/0/ir/others/20150624.pdf>をご参照願います。)

#### ①既存事業の収益性向上

##### ・売上総利益率のさらなる向上

プロジェクト管理の充実・強化による採算性向上、生産間接費の継続的削減、自社IP製品ビジネスへの取り組み、生産要員規模の適正化の推進により、売上総利益率は前年同期比0.6%アップの18.3%となりました。

##### ・販管費率の改善

アカウントマネージャー制の導入により営業効率の向上を図るとともに、本社スタッフ部門とシェアードサービスを担当する株式会社SRAプロフェッショナルサービスの運営コストの削減を進めた結果、販管費率は9.4%まで大きく改善しました。

##### ・営業利益率の向上

営業利益率は、過去最高でありました平成20年3月期第3四半期連結累計期間の8.3%を超え、過去最高となる8.9%となりました。また、経常利益率も過去最高となる9.8%となりました。

##### ・受注・売上拡大

既存顧客の深耕による顧客内シェア向上を重点施策として受注・売上拡大に努めた結果、株式会社SRAをはじめとする国内グループ会社は総じて増収となりました。

また、株式会社SRAが推進してきました「案件管理の仕組み」を国内グループ会社にまで展開した結果、案件の不足に対し、先んじて対応できる体制を築きました。

#### ②ビジネスモデルの変革

・「ビジネスモデルの変革」については、最近、注目度の高いウェアラブルソリューションにおいて、「組込開発」の高い技術力と豊富な実績を活かし、スマートグラスなどのウェアラブルデバイスを用いた「点検作業の確認システム」等の取り組みを始めました。

・「既存事業の高付加価値化」についても、グループをあげて取り組んでおります。

#### ③「自社IP製品ビジネス×海外ビジネス」の強化

・開発事業、運用・構築事業に比べると売上総利益率が低い「販売事業」において、「自社IP製品ビジネス」を推進することにより、売上総利益率を大きく向上させることができました。組込み、モバイル用アプリケーション構築で多くの実績がある「Qt」は売上、収益ともに伸びており、今後、注目度の高いIoT分野に向けてもビジネスを積極的に展開していく計画です。また、市場ニーズが高い「セキュリティ」と「コンプライアンス管理」に対応したクラウド向けソリューション「cavirin」

(Cavirin Systems, Inc.の自社IP製品)は、米国の著名な調査会社による、サイバーセキュリティ業界の注目企業ランキングの上位に選ばれるなど技術優位性が高く評価され、知名度も上がり、大手企業などへの導入が着実に進んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高につきましては、開発事業、運用・構築事業、販売事業の全てが増加した結果、28,562百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

損益面におきましては、増収と利益率向上による売上総利益の増加と販管費の効率化により、営業利益は2,545百万円(前年同期比43.8%増)、経常利益は2,787百万円(前年同期比15.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,683百万円(前年同期比78.0%増)となりました。

上記のとおり、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、前年同期に比べ増収増益となり、計画に対してもほぼ想定どおり進捗しております。

また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、1株当たり四半期純利益のいずれも、第3四半期連結累計期間としては過去最高の実績となりました。

当第3四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、製造、銀行、電力、流通の各分野が増加した結果、当事業の売上高は14,612百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、大学関連が横ばいとなりましたが、企業向けが増加し、当事業の売上高は2,945百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社S R Aで減少しましたが、株式会社A I Tの機器販売が増加した結果、当事業の売上高は11,004百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産合計は33,327百万円（前連結会計年度末比5.1%増）、負債合計は13,347百万円（同3.8%増）、純資産合計は19,979百万円（同5.9%増）となりました。前連結会計年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりです。

(資産合計)

関係会社株式の取得等により投資有価証券が2,084百万円増加し6,261百万円、請負開発案件の増加等により仕掛品が368百万円増加し2,046百万円となりました。一方、売上の増加により商品及び製品が211百万円減少し572百万円、繰延税金資産が189百万円減少し469百万円となりました。

(負債合計)

短期借入金が500百万円増加し1,679百万円、仕入債務の増加等により買掛金が355百万円増加し3,820百万円となりました。一方、法人税等の支払により未払法人税等が433百万円減少し446百万円、消費税の支払により未払消費税等が229百万円減少し392百万円となりました。

(純資産合計)

利益剰余金が924百万円増加し16,212百万円、有価証券及び投資有価証券の時価変動によりその他有価証券評価差額金が118百万円増加し712百万円となりました。一方、為替相場の影響により在外子会社の換算時に発生した発生した為替換算調整勘定が53百万円減少し531百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に開示しております「平成27年3月期決算短信」の連結業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第2四半期連結会計期間において、当社子会社の株式会社S R Aによる出資持分の一部譲受と増資引受により、深圳市鑫金浪电子有限公司を持分法適用会社の関連会社を含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,672	7,933
受取手形及び売掛金	6,223	6,398
有価証券	3,392	595
商品及び製品	784	572
仕掛品	1,677	2,046
短期貸付金	1,767	1,196
繰延税金資産	658	469
その他	977	3,630
貸倒引当金	△27	△24
流動資産合計	24,126	22,816
固定資産		
有形固定資産		
建物	317	327
減価償却累計額	△231	△244
建物(純額)	85	83
機械装置及び運搬具	566	552
減価償却累計額	△510	△510
機械装置及び運搬具(純額)	55	42
その他	113	115
減価償却累計額	△78	△82
その他(純額)	35	32
有形固定資産合計	175	158
無形固定資産		
その他	520	474
無形固定資産合計	520	474
投資その他の資産		
投資有価証券	4,177	6,261
長期貸付金	1,060	1,963
繰延税金資産	1,243	1,229
差入保証金	324	332
退職給付に係る資産	44	48
その他	171	172
貸倒引当金	△12	△12
投資損失引当金	△118	△117
投資その他の資産合計	6,891	9,878
固定資産合計	7,588	10,511
資産合計	31,714	33,327

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,465	3,820
短期借入金	1,179	1,679
未払費用	593	736
未払法人税等	880	446
未払消費税等	621	392
賞与引当金	568	405
役員賞与引当金	53	71
工事損失引当金	662	461
資産除去債務	—	5
その他	714	1,144
流動負債合計	8,739	9,163
固定負債		
繰延税金負債	2	—
退職給付に係る負債	3,957	4,030
役員退職慰労引当金	140	153
その他	15	—
固定負債合計	4,116	4,183
負債合計	12,855	13,347
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,468	4,511
利益剰余金	15,288	16,212
自己株式	△2,727	△2,652
株主資本合計	18,030	19,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	594	712
為替換算調整勘定	585	531
退職給付に係る調整累計額	△375	△367
その他の包括利益累計額合計	804	876
新株予約権	25	31
純資産合計	18,859	19,979
負債純資産合計	31,714	33,327

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	25,867	28,562
売上原価	21,293	23,335
売上総利益	4,574	5,227
販売費及び一般管理費	2,804	2,681
営業利益	1,770	2,545
営業外収益		
受取利息	145	167
受取配当金	24	33
為替差益	363	6
受取保証料	90	6
その他	69	61
営業外収益合計	692	276
営業外費用		
支払利息	20	19
証券代行事務手数料	18	14
その他	2	0
営業外費用合計	40	34
経常利益	2,422	2,787
特別利益		
投資有価証券売却益	18	20
新株予約権戻入益	21	—
その他	2	1
特別利益合計	41	22
特別損失		
固定資産除却損	14	0
投資有価証券評価損	835	87
その他	20	2
特別損失合計	871	89
税金等調整前四半期純利益	1,592	2,719
法人税、住民税及び事業税	792	893
法人税等調整額	△145	142
法人税等合計	646	1,035
四半期純利益	945	1,683
親会社株主に帰属する四半期純利益	945	1,683

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	945	1,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	429	118
為替換算調整勘定	190	△53
退職給付に係る調整額	9	7
その他の包括利益合計	629	72
四半期包括利益	1,575	1,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,575	1,756
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	13,479	2,854	9,533	25,867	—	25,867
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	203	413	625	△625	—
計	13,488	3,057	9,946	26,492	△625	25,867
セグメント利益	1,308	630	745	2,683	△913	1,770

(注) 1. セグメント利益の調整額△913百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	14,612	2,945	11,004	28,562	—	28,562
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	226	250	489	△489	—
計	14,624	3,172	11,254	29,052	△489	28,562
セグメント利益	1,790	669	996	3,455	△910	2,545

(注) 1. セグメント利益の調整額△910百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社子会社 株式会社S R Aは、Cavirin Systems, Inc. の事業拡大を目的として、平成28年2月4日開催の株式会社S R A取締役会において、新規貸付6,000千米ドルを行うことを決議し、同日にその一部である1,400千米ドルを実行しました。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	前年同四半期比 (%)
開発事業 (百万円)	15,331	107.5
運用・構築事業 (百万円)	2,953	102.5
合計 (百万円)	18,284	106.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ②仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	前年同四半期比 (%)
販売事業 (百万円)	6,427	104.1
合計 (百万円)	6,427	104.1

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ③受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	15,443	108.4	5,243	101.2
運用・構築事業	2,156	98.6	818	85.7
販売事業	9,812	95.1	3,190	90.8
合計	27,412	102.4	9,252	95.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ④販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	前年同四半期比(%)
開発事業(百万円)	14,612	108.4
運用・構築事業(百万円)	2,945	103.2
販売事業(百万円)	11,004	115.4
合計(百万円)	28,562	110.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以上